

## けい HPVワクチン(子宮頸がん予防) 接種のご案内

### ◎あなたはキャッチアップ接種の対象者です

キャッチアップ接種とは、定期接種の機会を逃した平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女性(高校2年生相当～令和6年度に27歳になる女性)を対象に公費(無料)で行っている接種です。

このキャッチアップ接種は

**令和7年(2025年)3月31日に終了**します。

※この期間を過ぎると全額自己負担となります

### ◎子宮頸がんとは

HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因で、子宮の出口に近い部分にできるがんです。女性の多くがこのウイルスに一生に一度は感染するといわれています。

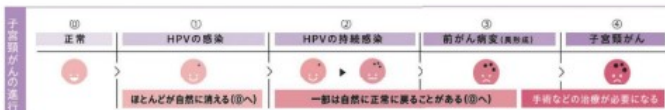
日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんになり、**約2,900人**が亡くなっています。

子宮頸がんは20歳代から増え始め、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も1年間に約1,000人います。

#### 生涯のHPV感染率



参照:MSD製薬のホームページより



ウイルス感染する前の予防が大切!

**HPVワクチンは子宮頸がんの原因となる  
HPVの感染を予防できる唯一のワクチンです。**

HPVワクチン「キャッチアップ接種」  
について詳しくはこちら →

### ◎HPVワクチンの種類と効果

HPVの中には子宮頸がんの原因となる型が少なくとも**15種類**あることがわかっています。HPVワクチンは、このうち一部を防ぐことができます。

HPVワクチンは、3種類【リーパリックス、ガーダシル、シルガード9】あり、そのうちどれか1種類を接種します。

ワクチンの種類	予防できるHPVの型	予防効果
サーバリックス	16型、18型	50～70%
ガーダシル	16型、18型、31型、33型、45型、52型、58型	80～90%

※ HPV16型と18型が子宮頸がんの原因の50～70%を占め、HPV31型、33型、45型、52型、58型まで含めると、子宮頸がんの原因の80～90%を占めます。

#### Q. 定期接種の年齢を過ぎても効果はありますか?

16歳ごろまでに接種するのが最も効果が高いですが、それ以上の年齢で接種しても、ある程度の有効性があることが、国内外の研究で示されています。

ワクチンの接種により、がんになる手前の状態(前がん病変)が減るとともに、がんそのものを予防する効果があることがわかっています。

子宮頸がん検診を受けよう!

HPVワクチンでは防げない種類のHPVがあることや、HPV感染以外の原因によるリスクもあるため**20歳以上の人は子宮頸がん検診を定期的に受けましょう。**



検診について  
(さわやか健康だよりp.1)



必ずご確認ください

親展

予防のために今できること

ワクチン接種に関する大切なお知らせ

無料接種できるのは今年度が最後

このハガキは令和6年6月時点で接種歴のない人にお送りしています。既に接種済みの方に届いた場合は、ご容赦ください。

ご案内は内側にあります。

矢印の方向にゆっくりはがして中をご覧ください。

万一、このハガキが濡れている場合は、十分に乾かしてから開けてください。裏面からも同様に左下よりはがして中をご覧ください。

## 公費による無料接種は 2025年(令和7)年3月31日まで

◇対象者:接種日当日に草津市に住民登録をしている該当年齢の人

◇接種スケジュール:3回接種

※3回の接種が完了するまでに約6か月間かかります。接種を希望される方は、初回接種を2024年(令和6年)9月末までにお済ませください。

◇接種費用:無料

※接種期限を過ぎると全額自己負担となり、1回あたり15,000円~30,000円程度かかります。

◇接種場所

草津市・栗東市・守山市・野洲市の実施医療機関

◇接種に必要なもの

- ①母子(親子)健康手帳
- ②健康保険証等の本人確認のできるもの

●ご不明な点がある場合は、健康増進課へお問い合わせください。

草津市役所 健康福祉部 健康増進課  
〒525-8588  
滋賀県草津市草津三丁目13番30号(市役所2階)  
電話番号 (077)561-2323(直通)  
FAX (077)561-0180  
メール kenko@city.kusatsu.lg.jp



厚生労働省・詳しい  
情報はこちら→



草津市ホーム  
ページ→



この部分から→の方向にゆっくりはがして中をご覧ください

### ◎HPVワクチンの接種スケジュール

接種回数は3回で、接種完了には約6か月(望ましい接種期間)かかります。すべて公費(無料)で接種するには2024年(令和6年)9月末までに1回目の接種をお済ませください。

下記の図は標準的なスケジュールです。スケジュールどおりに接種することが難しい場合は、医師とご相談ください。



※接種した際に気になる症状が現れた場合、それ以降の接種をやめることができます。

### ◎HPVワクチンの主な副反応

ワクチンは筋肉注射という方法で注射します。接種を受けた部分の痛みや腫れ、赤みなどの症状が起こることがあります。接種後に、まれにですが、重い症状が起こることがあります。ワクチンが原因となったものかわからないものも含め、接種後に重篤な症状として報告があったのは、ワクチンを受けた1万人あたり3~5人です。

### 予防接種健康被害救済制度

予防接種の副反応による健康被害は、極めて稀ですが、不可避免的に生ずるものですので、接種に係る過失の有無にかかわらず、予防接種と健康被害との因果関係が認定された方を迅速に救済する制度があります。詳細は下記の二次元コードよりご覧ください。

予防接種健康被害  
救済制度について→



### 草津市・栗東市・守山市・野洲市(以下4市と表示) の実施医療機関で接種できます

4市の実施医療機関で接種する場合、事前の申請は必要ありません。医療機関へ直接お申し込みください。

草津市・栗東市の実施医療機関について⇒  
(令和6年度さわやか健康だよりp8~p10)



#### ▶ 4市以外の滋賀県内で接種する場合

健康増進課で事前の手続きを行うことで、予防接種広域化事業に参加する医療機関であれば接種できます。

#### ▶ 滋賀県外で接種する場合

県外への進学や入院、里帰り出産などの理由によりやむをえない事情がある場合、本人もしくは保護者が医療機関へ接種可能か確認した上で、健康増進課で事前の手続きを行うことで、市の助成金額を上限に費用の助成をします。(医療機関により、費用負担が異なります。)手続きには1週間程度かかります。

#### ▶ 上記の手続きにおける注意事項

4市以外で予防接種を受ける場合、医療機関に提出する書類が必要となりますので、必ず事前に健康増進課までご連絡ください。書類が届く前に接種した場合は、全額自己負担になりますのでご注意ください。接種後の申し出は受付できません。